

# TMT 科学諮問委員会 (J-SAC) (3/19, 5/14, 7/4)

- <https://tmt.nao.ac.jp/researchers/subcom/minutes.html> に議事録あり。
- Astro2020 (US KSP) と US-ELT プロジェクト提案についての状況説明。
- 日本コミュニティでリードするサイエンスケースの取りまとめとして、すばる望遠鏡の連携を生かしたサイエンスケースを中心にしてサイエンスケースのアップデートを行うこととなった。(日本としての)第2期装置のロードマップの取りまとめの基礎ともなる。(すばる2/TMTサイエンスブックとして年内の完成を目指して編集が進められている。)
- TMT戦略基礎開発研究経費について、その採択方針など議論を行った。採否は審査委員会(委員長：永山)にて審査され、科学諮問委員会で承認した。予算が限られていることを考慮し、TMT装置に直結するものを優先するという方針についても検討を行った。有効な要素開発をどのように進めていくかの議論は引き続き行う。(採択は <https://tmt.nao.ac.jp/researchers/support/report.html>)
- TMTに関連する研究会支援についても引き続き行われる。
- NSFへの建設予算申請提案にあたり、TMTの科学運用についての議論がTIO-SACのほとんどの小委員会を中心に行われた。J-SACでもXRISM(田代さん)、ALMA(斎藤さん)も交え、今後の検討課題の洗い出しを行った。
- 系外惑星RV探査や大気トランジット/直接撮像分光を目的とする赤外線高分散分光器 MODHIS についてレビューを行い、装置の構成案やサイエンスケース、すばるIRDとの開発面での連携について情報交換を行った。第1期装置に続く装置として位置づけることを支持することとした。

# TMT 科学諮問委員会 (J-SAC)

- マウナケアの状況を受け、8/6, 8/30 とすばる科学諮問委員会と合同での開催を行った。プロジェクト室からの状況説明と意見交換を中心として行った。
  - マウナケアでの建設を強く推進することに対する懸念、建設反対に対する配慮
  - ELT 時代にもすばる望遠鏡を存続することの重要性、
  - ハワイでの現地の状況を把握することの重要性、  
などの意見が交換された。詳細は建設地議論の報告を参照。
- 次回は 9/27 (光赤外天連シンポの直後) に開催予定。
  - 9/13, 9/24-26 の議論を受けて、どのように対応するか (コミュニティとしての要望の取りまとめ?)
  - すばる2/TMT サイエンスブックの取りまとめ状況とすばるを含めた科学運用戦略や(第2期)装置ロードマップについての議論。